

とも子助産院



助産師 伊藤朋子
〒981-3124
仙台市泉区野村字野村95-6
TEL 022-772-5960
メール tomo@tomo-j.jp

2015年1月発行

初産ママのお産も受付はじめて5年目になりました。

開業からの10年間は、前回ご安産した経産婦さんのみとしていましたが、助産院スタッフの充実や、宮城県の周産期医療ネットワークの運用と囑託医のご協力のもと、初産婦さんたちのお産も始めて、じわじわとその比率が増えてきました。はじめてのお産でも、つるん！ポン！と生まれて、つやつや・にこにこ退院していけるママも多いのですが、病院転院も少なくない。初産の何が大変って、やっぱり長い陣痛時間と産後のホルモンの嵐に翻弄される心の揺れ、赤ちゃんとはじめての生活。何度も不安に押しつぶされそうになって涙がポロリ。「自分もこうして育ったんだなあ」と、ありがたくてまた涙。愛おしい新米ママたちです。そんなメソメソちゃんも2人目ともなると、赤ちゃんの匂いをクンクン嗅ぎながら「い〜匂い！たまらない。あの時、なにがそんなに大変だったのか意味が分かんない。あ〜カワイイ。お産、最高！」なんて言い放つ。お子さんたちを両脇に抱え「こんなに大きくなったよお。見て〜。」と、たくましくなったオカアチャンの顔で来てくれるのが嬉しい。

2014年のできごと

いろんなイベントを沢山やりました。
6月のベリーダンスの会、楽しかったです。
産後3ヶ月とは思えない講師のLuja♡さん。



見守り託児、菊地さん いつもありがとうございます。

おさがり歓迎

ベビー服 ・ 布おむつ
温泉タオルみたいな白タオル



「わこねっこ」

人気のバランスボールインストラクター中本さんが東京へ引っ越し後、クラスをなくしてしまうのはもったいないと、「はこつき」の鈴木さんと、後輩の養成講座を開催。修了生がそれぞれ活動を開始し、ママたちの元気と美をサポートしています。



ママが楽しいと、赤ちゃんもご機嫌。

心と体の栄養。自然の恵みに感謝。

支えてくれるスタッフと家族に感謝。



増築工事が始まります

震災を挟み、企画と中断を繰り返してきた助産院の増築工事がとうとう開始。



1階に厨房と待合室兼食堂、2階に診察室を新設します。

入院室はそのままなので入院数は変わりませんが、パパやご家族にも居心地よく過ごしていただけるよう、トイレを2か所増設します。

工事中はなにかとご不便をおかけしますが、ご協力をおねがします。

裏の駐車場もご利用ください

とも子助産院



助産院
裏手

5台

TEL 022-772-5960



カリスマ〇〇の赤ちゃんが寝る魔法?!

なんじゃ?そりゃ?と思うようなものが最近、流行っていて、ちょっと気がかり。ひとつは「鬼からでんわ」。「いい子にしないと鬼から電話くるよ!」とグズる子どもを脅かすスマホのアプリで、ほんとに怖い鬼動画。秋田のナマハゲだって、年に1度しか山から降りて来ないのに、そうお手軽にママとホットラインがつながってちゃあ、たまったもんじゃない。本気で怖い。世の中が、もっと子どものグズりに寛容だったら、ママたちも「早く子どもを静かにさせなくては!」と、焦らなくて済むんじゃないかなあ。子どもはモチャモチャしてて、当たりまえ。そんなに聞き分けが、よかったら、かえって心配さあ。

「あんまりしつこく、いつまでも泣いてっから、呆れて撮ったんだあ〜。」と母に見せられた、ひっくりかえって暴れている子供の写真。それ、私です。

もうひとつの気がかりは、赤ちゃんを寝かしつけるためのグッズや育児書の流行。「赤ちゃんがこんなに泣くなんて!こんなに寝ないなんて!聞いてないよ!どうにかなりそう!」とママたちは嘆き、夜な夜なネットで検索。「赤ちゃん、ぐっすり」とか、「泣き止む〇〇」という便利グッズが、目にとまる・・・
ほんとに寝るのか・・・? はて?



皆様のご健康とご多幸をお祈りします。



赤ちゃん、なぜ泣く?

哺乳類には、**輸送反応**という反射があるそうです。「理化学研究所・輸送反応」と検索すると、かわいい動画が見られます。赤ちゃんは立ち止まると泣く、歩くと泣き止む。そんなこと当たり前・・・と思ってたけど、こうしてちゃんと分析すると学問になるんだなあ。

「抱っこして、おんぶして、また明日♪」

「赤ちゃんに泣かないでほしい。」というのは、母の永遠の祈り。「赤ちゃんの取説が欲しい!」という。でも本当は、「大丈夫、赤ちゃんは泣くもの。抱っこしてあげるから、少し休んで。」とってくれる手が欲しい。



「子供の「脳」は肌にある」山口創/著
という本が、よかった。
新生児が、フガフガと首を振ってお乳を探す様子、まさしく全身が センサーです。

人間は群れで暮らす動物。
赤ちゃんはみんなで育てるもの。



結婚20年目
助産院は15年目
孫が、いっぱい!?

毛糸のおはひプロジェクト

